

近畿日本鉄道22000系「ACE」の バリアフリー設備のご案内

(2015年3月14日現在)

©作成・半沢一宣(はんざわ・かずのり)

「ACE」は汎用型特急車として1992年に就役した22000系車両に付けられた愛称です。

4両編成と2両編成の2種類がありますが、車いす対応設備があるのは4両編成のほうだけです。

車いす対応座席(次ページの配置図で「H」と標記)

3号車の91番席と93番席が車いすからの乗り移りに便利なよう肘掛けを跳ね上げることができる構造になっていて、車いす固定用の設備もあります。

多目的室

設置されていません。

車いす対応トイレ(次ページの配置図で「W」と標記)

3号車に設置されていますがベビーベッド(おむつ交換台)やベビーチェアを併設した多機能型ではありません。

洗面所

3号車の車いす対応トイレの向かいにあります。車いす対応構造ではありません。

公衆電話(次ページの配置図で「p」と標記)

2011年頃まで、車いす対応構造ではないものが4号車に設置されていました。

飲料自動販売機

設置されていません。

受動喫煙の発生状況

4両編成列車では1号車、6両編成列車では1・5号車が喫煙車両(座席で喫煙できる車両)とされており、人が出入りする際に漏れ出た煙が隣の車両へ流れ込むことによる受動喫煙が発生しています。

乗車・調査の実施記録

いずれも2006年12月23日(土曜日)名古屋駅発車前に調査

4両編成 名古屋7時10分発賢島行き第6715列車

車両番号・号車=モ22219(1994年・近畿車輛製)

2両編成 名古屋6時50分発賢島行き第6613列車

車両番号・号車=モ22409(1992年・近畿車輛製)

次ページ以降に掲載した写真には、別の日時・列車で撮影したものも含まれています。

近畿日本鉄道22000系「ACE」の車内設備の配置図

* 2両編成の車内設備は4両編成の1・4号車と同じです。

6両編成列車では5号車が喫煙車のため4号車でも受動喫煙が発生します。

賢島
名古屋

京都・難波
賢島・難波

| | | | | | | | |
|--|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | | |
| | 指 | | 指 | 指 | H | | 指 |
| | | W | | | H | W | |

凡例

指 = 普通車指定席

H = 車いす対応座席

W = 車いす対応トイレ(ベビーベッド無)

w = 車いす非対応トイレ(ベビーベッド無)

p = 公衆電話(車いす非対応)

k = 車内販売準備室

細字 = 受動喫煙が発生していない清浄な空気の禁煙車

斜字 = 受動喫煙が発生している禁煙車

(喫煙車または喫煙コーナーに隣接している車両と喫煙ルームがある車両が該当)

太字 = 座席で喫煙できる車両(いわゆる喫煙車)



近鉄22000系「ACE」



近鉄22000系「ACE」の車いす対応座席



近鉄22000系「ACE」の2号車に
設置されていた公衆電話
(車いす非対応、現在は撤去)



近鉄22000系「ACE」の車いす対応トイレ



近鉄22000系「ACE」の車いす対応トイレ
の向かいにある洗面所